

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和2年4月20日（月）
午前10時～午前11時41分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 副市長 小川信彦
総務部長 中村定秋、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 片岡和浩、消防長 柴田義晴、教育こども未来部長 長谷川忍
秘書企画課長 伊藤新治、同企画政策グループ主幹 小出健二、
同秘書人事グループ主幹 加藤淳、行政課長 佐野剛、同行政
グループ主幹 兼松英知、同財政グループ統括主査 酒井寿、
企業立地推進室長 西村忠寿、同主幹 岡茂雄、上下水道課長
秋田伸裕、同上水道グループ主幹 大橋透、学校教育課長 石
川文子、同学校教育グループ主幹 井手上豊彦、生涯学習課長
竹井鉄次、同スポーツグループ統括主査 新中須俊一、子育て
支援課長 西井上 剛、同保育グループ主幹 佐久間喜代彦
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 7 議長あいさつ
- 8 副市長あいさつ
- 9 報告事項
(1) 執行機関からの報告
① 5月臨時会に提出予定の議案について
各部長：資料に基づき説明。
教育こども未来部長：子育て世帯への国の支援策として、3、4月の児童
手当に1人あたり1万円を上乗せして支給する臨時給付金。3月31日
までに生まれた子どもから、現在高校1年生までが対象。児童手当は、
所得が一定以上であると、特例給付となるが、特例給付の場合は今回の
臨時給付金の対象外である。公務員の児童手当は、所属団体から支給さ
れているが、今回は居住地に申請する。予定補正額は受給者6,000人を見込んでおり、給付費総額60,000千円、委託料で3,140千円、役務費1,130
千円、需用費170千円。財源は全額国庫負担。支給は6月を目指す。
次に教育費で、小中学校の臨時休業に伴い、予定していた登校日を現
下の状況で取り止めたため、学習支援のための教材を全児童生徒宅へ郵
送するための通信運搬費合計2,580千円を増額する。3,486名分×レター
パック370円×2回。当初予算の通信運搬費で、既にレターパックは購
入し、本日から順次発送する。

【確認】

梶谷議員：2回目のレターパック発送時期はいつか。

教育こども未来部長：未定。レターパックは買取りなので、1回分のみ買い取っている。今後は普通郵便になる可能性もある。

大野議員：（南小本館大規模改修の）入札結果をレターケースへ入れてほしい。

総務部長：入札結果は通常、初日に資料として議場配付していたが。

梅村議長：議場配付でお願いします。

宮川議員：教材配付に関して、フォローはしているか。

教育こども未来部長：引き続きメールや電話で対応していくことになるのかと思う。

②川井野寄地区での企業誘致のスケジュールについて

企業立地推進室長：資料に基づき説明

【質疑】

黒川議員：現時点での訪問企業数は。

企業立地推進室長：エントリー数は公表を控えてほしいとの要望があるため、控えさせていただく。岩倉の立地は魅力的であるとの声をいただいている。

③岩倉駅東雨水計画検討業務の検討結果について

上下水道課長：資料に基づき説明。

【質疑】

大野議員：神明ふれあい広場は借地であるが、永久構造物を設置していいかどうかの整理はしているか。

上下水道課長：他にも条件があるので、今後の検討課題である。

大野議員：土地を購入するのか、借りていくのか。費用対効果は。

上下水道課長：今後の検討課題である。

大野議員：神明ふれあい広場の中だけで調整池を設置するという検討はされないのか。C案がない。

上下水道課長：これはあくまでも、敷地内で整備が可能か否かの資料であり、今後検討する。

黒川議員：都市計画道路江南岩倉線の地下に入れるということになるが、県と協議したか。

上下水道課長：県に確認したところ、現段階でのよし悪しは答えられないとの回答だった。道路の計画があるので、設置するのであれば配慮しな

から実施することになる。

大野議員：H 4 7 計画を見直す考えはあるか。

上下水道課長：見直すかどうかも含めて検討する。

④保育園・認定こども園の入園状況について

子育て支援課長：資料に基づき説明。なお、待機児童 3 名は 5 月 1 日入園に向けて調整中。

【質疑】

黒川議員：東部保育園の 0 歳児の空白は。

子育て支援課長：今年度クラスを持っていないため空白とした。

黒川議員：ここは年度途中での受入可能ということか。

子育て支援課長：職員数によって対応するので現時点では不可である。

堀議員：今の答弁だと職員数が足りていないということか。

子育て支援課長：現在の職員数で今年度のクラスに振り分けた結果、このような状況となっている。

堀議員：東部保育園 0 歳児の希望は市民からないのか。

子育て支援課長：第一希望はなかった。

⑤小中学校児童生徒・学級数等について

学校教育課長：資料に基づき説明。なお、私立小学校は 0 名、私立中学校は 2 1 名、特別支援学校は小学部中学部合わせて、一宮東特別支援学校に 9 名、小牧特別支援学校に 3 名、春日台特別支援学校に 1 名である。

【質疑】

質疑なし

⑥小中学校に関する行事等の日程について

学校教育課長：資料に基づき説明。

【質疑】

質疑なし

⑦岩倉市民体育祭におけるアンケートについて

生涯学習課長：資料に基づき説明。

【質疑】

木村議員：このアンケートを取ろうと発案した理由は。

生涯学習課長：市民体育祭において、いつも様々な意見をいただくが、特

にテント設営とリレー選手確保に行政区が苦慮していると聞く。どれほどのものかを把握して参考にするため。

堀議員：新年度予算が認められた後に、なぜさらにこのようなアンケートを取るのか。

生涯学習課長：これまでも話は伺ってきているが、改めて結果を残してそれに基づき対応したいと考えた。

堀議員：アンケート結果によっては、委託料を払わずに今まで通り自前でテント設営を行うのか。

教育こども未来部長：予算で議決をされているので、今年度については委託でやっていく。ただ、今までは現場や区長会での意見であったので、区の意見として取りまとめたいと考えた。予算を執行しないということではない。

木村議員：順番として、先にアンケートがあつての予算計上ではないか。

教育こども未来部長：そのとおりであるが、様々なところから言われる意見を随時集約していただけたので、全体意見を取りまとめたいと思って実施する運びとした。また、テントがない区があったことも、予算計上した理由である。

⑧その他

（市制50周年の周知啓発について）

秘書企画課長：資料なし、口頭説明。市制50周年記念事業が令和3年1月から始まるが、啓発と機運を高めるため、NPO法人いわくら観光振興会の協力によりポロシャツを作成した。白、グレー、ネイビーの3色で、基本型は税込み2,500円。今後、議会事務局に取りまとめを依頼するので、議員の購入、議会等での着用の協力をお願いする。5月から10月までさわやかエコスタイルキャンペーンということで職員の着用もある。

【質疑】

質疑なし

（新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う外出・移動の自粛要請を受けた折り鶴のお願いについて）

秘書企画課長：資料なし、口頭説明。ホームページ、ライン等でお知らせしているが、「うちにおろうよ。鶴も折ろうよ。キャンペーン」ということで外出自粛のなか、自宅での過ごし方の一つとして、折り鶴を作成し

ようというキャンペーン。例年の平和祈念事業としてお願いしている通り、自宅の折り紙を使用してもらうが、電話で折り紙の申し込み可能。休校中の子ども達には家族の団らん促進、高齢者には手先の運動による脳の活性化、平和意識の高揚も図る。折り鶴は8月9日の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典までに長崎に送る。

【質疑】

堀議員：キャッチコピーが秀逸だ。職員の発案か。

秘書企画課長：そのとおりである。

（総合計画について）

秘書企画課長：資料なし、口頭説明。第5次総合計画の策定スケジュールについては、議会の総合計画検討特別委員会等でも令和2年12月議会で審議と進めてきたが、議会も特別委員会を延期としたところで、4月10日の愛知県緊急事態宣言を受け、本市も4月13日新型コロナ対策本部会議において、5月6日まで内部会議禁止の方針が出され、また委託業者の地域問題研究所から対面での打ち合わせ及び会議自粛の申入れもあり、秘書企画課のヒアリングを延期した。これにより全体スケジュールを見直し、令和3年3月議会での提案を目指すことにした。

【質疑】

なし。

（2）その他

（新型コロナウイルス感染症対策関連の質疑）

梅村議長：せっかくの全員協議会なので、新型コロナウイルス感染症関連で執行機関に聞きたいことがあれば。

大野議員：図書館の貸出し業務について、他市は貸出しも含めて閉館している。市外の方も岩倉に借りに来ている状況と聞いた。今後はどうするか。

教育こども未来部長：3月中は閉館していたが、4月1日から貸し出しのみ始めており、市民は中に入らないようにして風除室で対応している。当初は50人ほどで業務過多となったが、現在は1日に約25人程度で落ち着いている。中には、本を見て選びたかったと帰る方もいるようだ。他市町では、一定時間で区切って入館できる等の対応をしていた所もあったが今はやめている。小牧市や江南市では予約した分は貸出しをしているとのこともあり、今後は本部会議でも検討していきたい。

大野議員：職員の安全のため、一旦閉館してほしい。それから、犬山市が独自の休業補償事業を開始した。岩倉市の独自事業の考えは。

総務部長：新型コロナウイルス関連の補正予算は現在も検討中で、今の段階では答えられない。

大野議員：創設されるという臨時交付金の岩倉市の見込み額は。

総務部長：国や県から通知はなく、現時点ではわからない。

堀議員：職員体制だが、窓口対応の対策は。また、マスクはやはり個人持ちか。

健康福祉部長：市民窓口課は、4月は従来から来庁者も多い。手洗い、うがいとマスク着用の励行と、窓口にはビニールの衝立を設置している。平日の時間帯に職員を減らすと窓口対応も厳しい。若干名が時差出勤を行っている。郵送で手続きできるものをホームページで周知し、電話予約分の時間外受取りなど周知して、窓口対応を減らすよう試みている。

総務部長：マスクは職員自前で用意するが、手に入らない場合は備蓄から少し配付している。

堀議員：外出自粛中であるが、来庁者数はどうか。

健康福祉部長：実数は今持ち合わせていないため、後日レターボックスに配付する。

木村議員：桜の時期は終わったが、外国人に対するアナウンスは十分か。

建設部長：桜の時期には、外国人周知まではできていなかった。

木村議員：市民から外国人が出歩いていると不安の声を聞くので、周知をお願いしたい。

梶谷議員：休業要請に対する協力金について、愛知県は一律50万円だが、カラオケ喫茶に対する補償はどうか。カラオケボックスは対象、喫茶店は対象外であるがどうか。

建設部長：細かい部分は制度設計が見えていないので、確認しないといけない。喫茶店は休業した場合には対象となり、短縮については、夜8時から朝5時までの短縮は対象となると確認している。昼間の営業をしている所は現時点では対象外である。

梶谷議員：家賃が払えないという悲鳴が聞こえる。国や県の補償から外れるところに対して、市独自の救済策をお願いしたい。

建設部長：詳細までは決まっていない。国や県と連携しながら必要な対策を考えていきたい。

谷平議員：内定を取り消された人や、仕事を失った人に対して、市の臨時で雇うなどして対応できないか。それから防災行政無線から1日に3回、

岩倉のメロディが流れてくるが、家にこもってストレスを抱える人のために、そのうちの1回をラジオ体操にできないか。

総務部長：雇用対策は検討すべき事項と考えている。防災行政無線のメロディは午後5時の1回のみである。

大野議員：職員の分散出勤について、時差出勤や土日出勤の状況は。

秘書企画課長：前後1時間の時差出勤、昼休憩を午前11時からに拡大、土日と平日の週休割振りの変更を可能としている。妊婦は第1委員会室で職務にあたることが可能。

水野議員：児童生徒に対するコミュニケーションとして、電話やメールだけでなく、動画投稿を検討しないか。

学校教育課長：学習支援については、他市町では動画を活用し、取扱いを国からも示されている。コンピューター環境が家庭毎に違う。今後はその環境を把握しつつ検討していきたい。

片岡議員：5月7日再開予定であるが、他市では5月末まで休校を決めたところもある。休校期間が延びることも考え、先生と子どもが話せていないので、家庭訪問を取り入れる考えは。

学校教育課長：今の状況下での家庭訪問は課題がある。臨時登校などで課題を出したり直接話したり出来たらとの声も聴くが、見合わせざるを得ない。方法を考えながらケアをしていきたい。

片岡議員：電話でもよいと思う。直接先生の声聞くことで安心できる。先生の力を借りながら子どものケアを大事にしていきたい。県でもオンラインの授業を行う等、お金はかかるが環境を整えることを検討して、長期化したときのことを考えていろいろと施策を考案いただきたい。

水野議員：早すぎる話とは思いますが、市税収入が減る等いずれ財政的に苦しくなってくると思うが、限られた予算のなかで市政を運営していかなくてはならない。収束後の方針をどのように考えているか。

総務部長：現時点ではそのような局面ではないと考えている。

10 協議事項

堀議員：資料に基づき説明。

黒川議員：堀議員の提案は、事前に議長は聞いていたのか。協議事項として取り上げるものか。その他ではないのか。

梅村議長：金曜日に聞いた。どこで取り扱うかは、新型コロナウイルス感染症支援関連は代表者会でと考えていたのだが、皆が集まるので意見があればと思い、取り上げた。

伊藤議員：東日本大震災や国難の際には寄附を行ってきた。地方議会議員の報酬２割削減は生活の面を考えると難しい。

水野議員：15,000 円の商品券を配るということだが、市としては貴重で多額の財源を費やしたのに、国や県の施策の中で埋没してしまうおそれはある。

堀議員：国の１０万円分の購入券配布の話も出てきているが、国や県がやるから、それを待ってればいいのか。市の基金があり、今こそ使うべき。

大野議員：児童扶養手当対象の家庭に関しては検討課題であると考えます。また、議員報酬については各々の生活があるので控えるべきである。

梅村議長：ここで決めるのは難しそうなので、一旦代表者会で諮り、どう取り扱うか決めていきたい。

堀議員：代表者会でも良いが議論がきちんに残るような場が良いと思う。

梅村議長：なんでもかんでも代表者会でとは考えていない。災害時の支援本部の本部長は議長がやっており、代表者会は議長が仕切るため適切と考える。すべて公開すれば良いというわけではない。まずは代表者会が相応しいと考える。

１１ その他

伊藤議員：議会基本条例検証特別委員会にて検証シートを作成することができた。配るので、誤り等あれば事務局へ。

関戸議員：議会サポーターの公募について、例年だとこの時期に日程を決め６月広報で公募するが、どうするか。私の意見であるが、今年度の公募は中止として、現メンバーに継続をお願いする。意見交換会も昨年は７月１１日、１３日に行ったが、これも難しいかもしれない。現在、継続したいと意思表示している方もいるが、広く多くの方にやっていただきたいと考えるが、どうか。

大野議員：中止ではなく見合わせでどうか。

関戸議員：９月あるいは１２月の議会の前まで状況を見ながら、どこかで公募を掛けるということか。

宮川議員：延期やむなしであるが、議会改革の中で大きな位置づけの制度であるから、落ち着いてから運営を揉んでいけばと考える。とりあえず延期という表現でよいのではないか。

関戸議員：延期と決めさせていただく。

次に、マイクシステムについて。見積りをレターケースに配布した。

片岡議員：事前配付資料に基づき説明。最終確認をするが、家庭用ビデオカメラでよろしいか。

堀議員：ビデオカメラで全く問題ない。

宮川議員：カメラを複数にした場合、増設が可能かどうか。

片岡議員：2台になっても、アンプから音声を出力し、ビデオカメラに入力するので、分岐すれば問題ない。

大野議員：まだ課題もあるため、実施計画に上げるべきと考える。

片岡議員：家庭用ビデオカメラで委員会放映をすることで進めていく。次に有線か無線で検討したい。資料の見積りに記載の金額は第1委員会室を含めた金額となるが、除いた金額は手書きで示してある。有線マイクだと608万円、無線だと995万円、どちらにするべきか。個人的には有線で問題ないと考えるが。

堀議員：その通りだと思う。

関戸議員：無線の場合、バッテリーの寿命があり、その予算やアンテナを委員会室に設置する工事も必要になってくるため、有線でいい。

宮川議員：第1委員会室が全く使われないとはいえない。有線でも移動可能であれば問題ないが。

片岡議員：頻度の問題。第1委員会室を含めると200万円違ってくる。例えばICレコーダー等で対応できればと考える。

大野議員：課題はあるが、とりあえず実施計画にあげる。

片岡議員：有線で進めていく。ビデオカメラも含めて実施計画に載せ、令和3年度スタートを目標にする。

梅村議長：第1委員会室等、検討の余地はあるが、合意が得られたのでそのように進める。

堀議員：この件は議会運営委員会の決定で進めてほしい。

梅村議長：議会運営委員会で最終的には決定する。

堀議員：今後ネットを利用した会議をやる必要がでてくるのでは。

梅村議長：市の対策本部はラインワークスを使ってやろうとしており、議会でもオンラインの会議を検討していかなければいけない。政務活動費の返納なども検討して行きたい。全国市議会議長会から通知があったように、本会議も、会派の代表の出席で行うことを想定しなければいけないと、議会運営委員会で検討していくことになる。新型コロナウイルス関連で、本部に対し何かあれば事務局経由で意見をいただきたい。また本部会議から情報が上がってくるが、SNSでの発信の際は、議員の立場を踏まえてほしい。